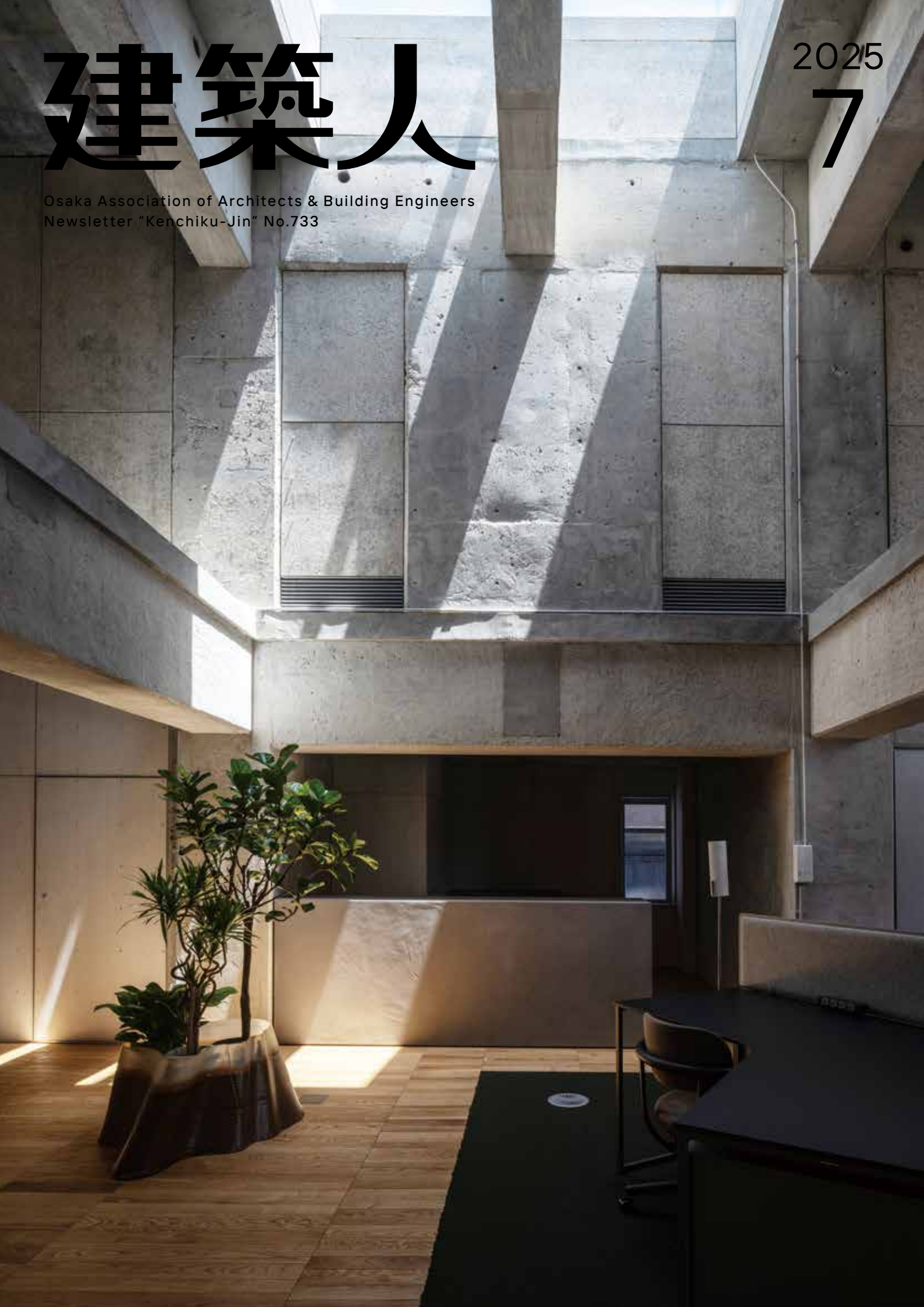


建築人

2025
7

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin" No.733





「MOAIの独言」

日々心に引かれた光景やモノをスマホで撮影、加工した作品
 私が惹かれるのは
 蓄積された時間が感じられるモノや光景
 自然の造形物
 今その時しかない光
 固定概念にとらわれず自由に感じてください

Photographer MOAI

岩手県盛岡市出身
 1985年大阪芸術大学卒
 同年広告企画制作会社に入社
 あらゆる業種業態のクライアントの撮影に携わる
 1996年フリーランスとなりPhoto Office MOAI設立
 大阪を拠点に広告写真を中心に活動中

建築人

2025.07 No.733

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin"

表紙の建築 「大阪避雷針工業神戸営業所」2024年

第68回 大阪建築コンクール 大阪府知事賞 受賞作品

設計：竹中工務店

施工：竹中工務店

撮影：母倉知樹

解体予定だった築35年の建物を、減築と増築を組み合わせ再生した。スクラップ&ビルドを超える価値創出のために、“新しさの価値”から“時がつくる価値”への転換を図った。これまでの経年変化を肯定的に捉え、今後も時とともに魅力が深まっていく建築を目指した。

2 MOAIの独言

4 Gallery 建築作品紹介

「LEXUS阿倍野」

設計：大林組

施工：大林組

「イーハトーブほうしん風の家」

設計：井上久実設計室

施工：ヒロタ建設

「ジョブサイトひむろ」

設計：二井清治建築研究所

施工：安部工務店

7 第17回建築人賞発表

11 動静レポート

12 Information

14 Topics

18 記憶の建築

「土門拳記念館（現・土門拳写真美術館）」1983年

抽象化による環境造形の静謐さ / 松隈 洋

建築人 No.733 2025年7月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報委員会

編集 建築情報委員会『建築人』編集部

部門長：松下典央

委員長：武藤優哉

編集人：河野 学 荻窪伸彦 笠松哲司 川北武志

小谷美樹 昇 勇 田鍋 稔

中北 力 橋本頼幸 春岡須磨子

三谷勝章 村上栄司 山本恭史

事務局：辻本和人 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

令和7年7月1日発行

発行人：会長／岡本森廣

発行所：公益社団法人大阪府建築士会

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F

tel. 06-6947-1961



ショールーム棟と整備工場棟が公道を挟んで建つLEXUS販売店。外装の光のラインとフィンを通し2棟一体の店舗として見せることで幹線道路に対して効果的なプレゼンスをもつ。ショールーム棟は展示車を魅せるガラス張り、整備工場棟は通風を確保し熱のこもらない作業環境をもたらすルーバーの外装とした。LEXUS店舗として珍しい3層吹き抜けの階段を設け、建物奥へ自然光を導き、上下の視線の繋がりで開放感をもたらした。内装は箔押し紙など自動車と同じ金属を用いた日本製の素材を採用したり、地元出身のアーティストとコラボレーションを行ったりと、LEXUSらしい「匠の技」を感じることのできる阿倍野店に唯一無二のデザインとした。

所在地：大阪府大阪市
用途：車両販売店
竣工：2025.04
構造規模：鉄骨造
地下なし
地上4階
敷地面積：427.28㎡
建築面積：367.26㎡
延床面積：1218.85㎡
写真：ヴィブラフォト／浅田美浩



大阪市内に建設した知的障害者グループホーム+有料老人ホームです。共同で暮らすパブリックな居場所、その人らしい暮らしが出来るプライベートな居場所を利用者主体の目線で充実させることを目指しました。居住部分は、共同のLDKを取り囲んで、各階5室の個室が隣り合うことが無いようにレイアウト。個室間にプライベートテラスを設けることで、個室から直接外気に触れることができ、またLDKに柔らかな外光を届けています。1階の共用部や屋上テラスは地域との連携活動の場として、定期的に地域に開放されます。利用者が高齢化する社会の中で、上階の老人ホームはグループホーム利用者の親御さんが暮らす新しい形の住まいのあり方を社会に提案しています。（井上久実）

所在地：大阪府大阪市
用途：障害者グループホーム
+ 有料老人ホーム
竣工：2025.03
構造規模：鉄骨造
4階建て
敷地面積：375.62㎡
建築面積：245.41㎡
延床面積：915.54㎡
写真：富田英次



定員60名の障害福祉サービス事業所（生活介護）である。
ジョブサイトひむろは、障がいが重くても「働く」ことで社会とのつながりを持つことを支援の中心に据えており、重度の知的障がい、自閉スペクトラム症のある方が数多く在籍する。建物内には、クリーニング、陶芸、軽作業など8つの作業グループがあり、障がい特性や個別のニーズに合わせて環境設定が行われる。また、運動、創作等、心身の健康を維持・向上できる部屋を備えている。外観は、施設内の動きが感じられ、地域の人が入ってこれる開放的なデザインとした。内部は木材を効果的に使用し、安全で心地よい環境のなかで利用者が快適に過ごせる空間とした。

所在地：大阪府高槻市
用途：障害福祉サービス事業所
竣工：2024.12
構造規模：鉄骨造
地上3階
敷地面積：1349.79㎡
建築面積：684.92㎡
延床面積：1364.75㎡
写真：母倉知樹

第17回 建築人賞 発表

主催：公益社団法人大阪府建築士会

審査総評

建築人賞の審査を今回も務めさせてもらった。これが5回目である。審査のプロセスは、これまでと同じである。『建築人』の Gallery 欄に掲載された作品が候補となる。2024 年の 1 月号から 12 月号までを合わせて、一般部門は 24 作品、住宅部門は 9 作品が候補となった。一般部門は、民間事務所、飲食店、ショールーム、工場、学校、保育園、図書館、病院、福祉施設、集合住宅など、用途も規模も異なるバリエーション豊かな建築群がリストアップされた。住宅部門も、都市住宅から郊外の邸宅まで様々だ。

その中からまずは、誌面を見て 1 次審査を行い、一般部門 10 作品、住宅部門 5 作品に絞った。続いて各作品の設計者から、図面、写真、設計コンセプトなどをまとめた追加資料を出してもらい、それをもとに 2 次審査を行う。この段階で一般部門は 6 作品に絞られ、住宅部門は対象作が少なかったため、5 作品をそのまま通した。この段階で残った作品が、各部門の授賞対象作となる。その後、一般部門については、建築主や設計者の協力を得て現地審査を実施した。住宅部門については、最後まで書類のみによる選考である。

以上のような流れを経て、一般部門と住宅部門、それぞれについて、建築人賞、建築人賞新人賞、建築人賞奨励賞、建築人賞佳作の各賞を決定した。

一般部門では現地審査で圧倒的な印象だったのが、「茨木市文化・子育て複合施設 おにクル」だった。平日にもかかわ

らず、子供からお年寄りまで様々な年齢層の人が数多く訪れ、建物の隅々まで使い倒していたからだ。公共施設の整備において、機能が異なるものをひとつにまとめたり、商業施設や集合住宅と組み合わせたりという合築の事例が全国で増えているが、合築によって相乗効果を生み出せたと言える事例は、それほど多くないのではないかと。この公共施設では人や情報と偶然に出会い、新たな発見や創造へと結びつく契機が、建築の設計によって実現している。これを高く評価して、建築人賞を与えることとする。

大学の校舎はいくつか候補に挙がっていたが、その中では「大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス 工学系学舎」が特に優れていた。交流の場となる共有空間を〈ナカモズテラス〉とネーミングし、発注者側とその意義を共有して、キャンパスのあり方への積極的な提案を実らせたところが素晴らしい。設計担当者が新人賞の対象であったので、これを建築人賞新人賞とした。

奨励賞には「川西市の共同住宅」と「大成建設関西支店ビル グリーンリニューアル」を選んだ。前者は中庭を共有することで共に住むことの意味を生む一方、各住戸が多方向に外へとつながって戸建てのような感覚も抱かせる。新しい共同住宅のあり方を提示したもの。後者は、ビル改修で設備や内外装を変えるだけでなく、内部空間を外部化したインナーテラスまで設けている。オフィス・リニューアルの可能性を広げた事例で意義が大きい。

佳作に選んだ「metalab」と「マクセル『クセがあるスタジオ』」は、ともに小規模な民間の施設ながら、敷地の環境やプロジェクトの条件から、そこでしかできないことに挑み、達成している点を称えたい。

住宅部門では、建築人賞に「紫竹の家」を選んだ。細長い敷地に通り庭を設けて、玄関に付属する接客空間を置いた構成は、郊外型町屋ともいえるべき新しい住居形式のモデルとも受け取れる。その点を高く評価した。

奨励賞には「けやき通りの家」と「ギャラリーのある家」を選出した。前者は吹き抜けに茶室を浮かべることで、都市住宅のリビングルームを立体的な庭空間の一部に変えることに成功している。後者は、戸建て住宅でありながら、街とのつながりが持てる設計になっている。こういう家が増えれば、人の息吹が感じられる楽しい住宅地になるのではないかと。

佳作は「Genius Loci 一場の力」と「番町の家」の 2 作品。前者は高低差のある敷地を生かした点、後者は洗練された和風住宅の素晴らしさを味わえたところを評価して授賞とした。

建築人賞の審査は今回が最後となる。この賞の審査を担当しなければ出会えなかった建築も数多い。そうしたもののなかから優れた作品を探し出し、光を当てることができれば、賞の意味も大きくなる。そう信じて取り組んできた。少しでも貢献できていたら嬉しい。5 年間ありがとうございました。



建築人賞新人賞記念盾



建築人賞記念盾

グラスアーティスト 佐久間 靖 作



審査委員長 磯 達雄

1963年 埼玉県生まれ
1988年 名古屋大学工学部建築学科卒業
日経BP社入社『日経アーキテクチャ』編集部勤務(～1999年)
2001年～ 桑沢デザイン研究所非常勤講師
2002年 フリックスタジオ共同主宰(～2020年)
2008年～ 武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科非常勤講師
2020年～ Office Bunga共同主宰
2023年～ 早稲田大学芸術学校非常勤講師

建築人賞 茨木市文化・子育て複合施設 おにクル

設 計／伊東豊雄建築設計事務所・竹中工務店共同企業体
施 工／竹中工務店

建築位置／大阪府茨木市 敷地面積／10,500.42㎡
竣工年月／2023 年 10 月 建築面積／4,329.8㎡
用 途／公共複合施設 延床面積／19,715.22㎡
(市民センター・劇場・ 写 真／ナカサアンドパートナーズ
図書館・診療所)
構造・規模／RC 造一部 S 造
基礎免震、地上 9 階

【選評】
大ホール、図書館、子育て支援施設、プラネタリウムなど、異なる機能を載せたフラットスラブが、公園側へと張り出し、全体が「立体的な公園」として立ち上がる。内部は直径 12m の「縦の道」が上下に貫き、そこにエスカレーターが交差しながら架かる。フロアを通り抜けながら、来館者は多様な活動に偶然出会う。分散配置された図書館の書架や、大ホール・ホワイエの可動カーテンによる仕切りも、機能空間の複合化に貢献している。



建築人賞 紫竹の家

設 計／プリヤデザイン一級建築士事務所
施 工／かわな工業

建築位置／京都市北区 敷地面積／262.26㎡
竣工年月／2023 年 8 月 建築面積／143.18㎡
用 途／専用住宅 延床面積／163.34㎡
構造・規模／木造 写 真／松村芳治
2 階建

【選評】
京都市内の閑静な住宅街に位置する。間口が 9.3m で、奥行きが 28m という長い敷地を細切りに分け、3 分の 1 幅を通り庭とした。玄関脇に設けられたギャラリーは、客を迎える場であるとともに、家族が趣味を楽しむ多目的な空間。深山幽谷を表現したという庭は、ギャラリー、居間、寝室に囲まれ、内外が一体化する。屋根は平入りで前面道路に低く延びる一方、中央の階段部では高い天井を確保して、余裕のある内部空間を実現している。



建築人賞新人賞 大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス 工学系学舎

設 計／KAJIMA DESIGN（基本設計：東畑建築事務所）
施 工／鹿島建設

建築位置／大阪府堺市 敷地面積／465,245.91㎡
竣工年月／2024 年 3 月 建築面積／2,570.05㎡
用 途／大学 延床面積／16,270.28㎡
構造・規模／RC造、一部 S 造 写 真／エスエス大阪支店
地上 7 階 秋田広樹

【選評】
工学系の 3 学科を集約した工学新棟と、CNC 工作機械などを備えてものづくりを実践する新センター棟を同時に整備。「ナカモズテラス」と名付けた共創の場を、それぞれに実現した。工学新棟ではインナーテラスとアウトターテラスをずらしながら配置し、ファサードに変化を付けるとともに、フロア間の視覚的つながりを生み出している。新センター棟では、キャンパスの目抜き通りに面してテラスを設け、内部の活動を外へ行き交う人へも伝える。



建築人賞奨励賞 大成建設関西支店ビルグリーンリニューアル

設 計／大成建設関西支店
一級建築士事務所
施 工／大成建設関西支店
建築位置／大阪市中央区
竣工年月／2023 年 2 月
用 途／事務所
構造・規模／RC + S 造
地上 9 階、地下 2 階
敷地面積／1,956.60㎡
建築面積／1,427.28㎡
延床面積／13,651.55㎡



写真／エスエス大阪支店 秋田広樹

【選評】30 年前に竣工した自社ビルを、使いながら改修。シースルー太陽光発電パネルや緑化ユニットを組み合わせた水平ルーバー、木製ブラインドを内蔵した排気活用型窓システム、薄型放射空調ダクトなどにより、ZEB 化を達成している。また建物の隅部には減築により、都市の自然を感じて気分をリフレッシュさせ、知的生産を高めるインナーテラスも設けた。建物の環境性能を高めると同時に、人の働き方も向上させるオフィス・リニューアルだ。

建築人賞奨励賞 けやき通りの家

設 計／大西憲司設計工房
施 工／ヒロタ建設
建築位置／堺市堺区
竣工年月／2023 年 12 月
用 途／専用住宅
構造・規模／RC 造
3 階建
敷地面積／148.77㎡
建築面積／88.58㎡
延床面積／215.54㎡



写真／福澤昭嘉

【選評】建物が密集して立つ堺市の住宅街に位置する都市住宅。鉄筋コンクリート造の 3 階建で、中庭を囲んで諸室が向かい合う平面の構成。2 階リビングの吹き抜け上部には、鉄骨造のボックスが浮かんでいる。3 階のグレーチング製ブリッジを通してアプローチすると、それは黒皮の鉄板と繊細な木の造作が面白い対比を見せる茶室である。3 階のデッキテラスから螺旋階段を上ると屋上庭園へ。超高層ビル街や仁徳天皇陵を見晴らす眺望が味わえる。

建築人賞奨励賞 川西市の共同住宅

設 計／藤本高志建築設計事務所
施 工／吉本建設
建築位置／兵庫県川西市
竣工年月／2024 年 6 月
用 途／共同住宅
構造・規模／W 造（在来工法）
地上 2 階
敷地面積／437.28㎡
建築面積／223.59㎡
延床面積／409.07㎡



写真／高橋菜生写真事務所

【選評】6 世帯からなる共同住宅。すぐわきを JR 福知山線が走り、上を伊丹空港の離陸ルートが通る。周辺は工場と住宅が混じり合う環境。それを意識して、全体が閉じた輪を形成するような配置を取り、各住戸へは中庭を介してアクセスする。2 階建てロフト付きの各住戸は、それぞれにまた中庭を備える。いわば、コートハウスが入れ子状になった構成だ。縦長の内部空間は、隅々まで光と風が行き渡り、高密度ながら快適な暮らしを可能にしている。

建築人賞奨励賞 ギャラリーのある家

設 計／二井清治建築研究所
施 工／阿佐建築工務
建築位置／大阪府豊中市
竣工年月／2024 年 3 月
用 途／専用住宅
構造・規模／木造
地上 2 階
敷地面積／103.40㎡
建築面積／61.64㎡
延床面積／94.63㎡



写真／母倉知樹

【選評】玄関脇で客を招き入れるギャラリーから、住まい手の日常生活の場となる食堂、そして書斎・浴室へと空間の質が変わっていく。パブリックからプライベートへの段階的な配列を、明快に反映させたプランだ。庭はギャラリーや食堂と視覚的に一体化し、日中は前面道路側の扉も開放。塀も半透明の素材を用いることにより、外に対して閉じない構えとしている。高齢者が閉じこもることなく、人や街とのつながりを保ちながら暮らせる家である。

●目的

公益社団法人大阪府建築士会では会報誌「建築人」を毎月発行しており、2025 年 4 月には第 730 号を数えました。本会の会員にとって重要な情報提供を行うとともに、建築作品発表の機会を設け、建築技術の普及や会員の相互研鑽に寄与することを目指しています。

「建築人賞」は「建築人」の GALLERY 頁に掲載された全作品の中から特に機能性、社会性、デザイン性、先進性などにおいて優れたものを顕彰することで、建築技術の進展、建築文化の向上に資することを目的とし、「建築人」のプレゼンスをより高めていくことを意図して創設された賞です。

●候補作品と審査経過

会誌「建築人」2024 年 1 月から 12 月の Gallery に掲載された建築作品 33 点の中から、磯審査委員長に選定頂きました。

一昨年創設した 40 歳以下の若い建築士の方を対象とする『新人賞』は、3 回目を迎え、一般部門で最終審査に 2 作品の候補が残りました。

一般部門は、本年も共同住宅から教育施設、文化複合施設、オフィス、展示ラガまで多様な建物用途があり、どれもが発注者の建物への明確な拘りと設計者がそれに応えようとする強い意志が感じられました。住宅部門は現地審査を行わず、全作品書類審査となりました。

『建築人賞』は設計者だけでなく、建築主や施工者も表彰の対象となります。建築人賞を通じて、多くの方々に建築やまちに魅力と価値を感じて頂き、建築文化の発展と人々の快適な暮らし創りに繋がることを祈念しています。

最後になりましたが、磯先生は今回の審査を持って審査委員長を退任されます。毎年、現地審査に同行させて頂き、設計者への質問内容を伺っていると、建築に対する新たな視点に気付かされました。5 年間審査委員長を務めて頂き、ありがとうございました。御礼申し上げます。

2025 年は新たに審査委員長をお迎えし、建築人賞の選奨を行って頂きます。会員の皆さまには、本年も「建築人」の Gallery に多くの作品を掲載頂きますよう、お願い致します。

建築情報委員会委員長 松下典央

建築人賞佳作 metalab

設計／奥和田健建築設計事務所
施工／カタヤマ建築工房

建築位置／和歌山県かつらぎ町
竣工年月／2023年4月
用途／展示施設
構造・規模／木造1階建
敷地面積／170.18㎡
建築面積／66.15㎡
延床面積／59.21㎡



写真／山田圭司郎 YFT

【選評】金属加工業を営む建築主が、工場に隣接して建設した小さな展示施設。内部は製品のショールームであるとともに、地域社会とのつながりを意識した展示イベントのスペースになっている。外壁と屋根を覆っているのはステンレス材。建築主が支給したもので、加工と仕上げは建築主と設計者が共同で行なっている。屋根の形状は周囲の山並みと呼応。ステンレスの鏡面は、周囲の梅林や青空を鈍く映して、建物を風景の中に溶け込ませている。

建築人賞佳作 Genius Loci ー場の力ー

設計／マニエラ建築設計事務所
施工／ケイ・アイ・エス

建築位置／兵庫県芦屋市
竣工年月／2023年11月
用途／専用住宅
構造・規模／木造＋RC造
地下1階、地上2階
敷地面積／954.95㎡
建築面積／243.33㎡
延床面積／771.93㎡



写真／下村写真事務所

【選評】六甲山麓の斜面地で、敷地内には高低差が8mもある。そうした条件を最大限に活かした設計が図られた。阪神間に広がる都市や、その向こうの生駒山まで見渡せるという、2階のリビング・ダイニング・キッチンからの絶景が見せ場だが、半地下レベルの和室から見た庭や、内装の石張りが外まで広がる浴室からの眺めも面白い。外装は格式を感じさせる石張り。敷地から出た御影石の組み石による外構で、地域の環境になじませている。

建築人賞佳作 マクセル「クセがあるスタジオ」

設計／kvalito
施工／木村工務店

建築位置／京都府大山崎町
竣工年月／2024年3月
用途／展示場
構造・規模／木造
地上1階
敷地面積／23,310.00㎡
建築面積／120.91㎡
延床面積／91.00㎡



写真／足袋井竜也

【選評】アートとテクノロジーの融合によるイノベーションの創出拠点の企業サイトに建てられた展示施設。若手クリエイターによる展示や、トークイベント、ワークショップなどが開催される。空間的可変性を高めるため、「九間」のホールの周りを、透過式可動パネルを介して回廊が囲むプランを採用。外側に張られたワイヤーは、四隅で庇を吊っているほか、主には緑化の機能を担う。同時に、外観に動きを感じさせる要素としても効いている。

建築人賞佳作 番町の家

設計／木原千利設計工房
施工／藤木工務店 四国支店

建築位置／香川県高松市
竣工年月／2021年6月
用途／専用住宅
構造・規模／木造2階
敷地面積／430.35㎡
延床面積／296.55㎡



写真／松村芳治

【選評】大きな瓦屋根と壁で形成される前面道路側からの外観は、プライバシーを守るとともに、品のある和風住宅の趣を見せる。玄関前の露地とつながる客間には和庭が、玄関ホールとリビング・ダイニングには中庭が、洋室と寝室にはデッキ庭が、浴室には光庭がそれぞれに接する。広さも植栽の有無も異なる多様な庭が、部屋ごとに楽しめるようになっている。建具との組み合わせによる開口部のつくり方も巧みで、どこに目をやっても絵になる。

実施要項及び経過

- 対象作品 会報誌建築人 2024年1月号～2024年12月号「GALLERY」掲載作品33点
- 審査 第一次審査（33点から15点選出） 第二次審査（11点選出）
- 表彰式 2025年度定時総会・式典 席上 日時／2025年5月28日(水) 会場／KKRホテル大阪3階
- 入賞作品

建築人賞

茨木市文化・子育て複合施設 おにクル	2024年11月号掲載
紫竹の家	2024年1月号掲載
建築人賞新人賞	
大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス 工学系学舎	2024年7月号掲載
建築人賞奨励賞	
大成建設関西支店ビル グリーンリニューアル	2024年4月号掲載
川西市の共同住宅	2024年10月号掲載
けやき通りの家	2024年2月号掲載
ギャラリーのある家	2024年7月号掲載

建築人賞佳作

metalab	2024年4月号掲載
マクセル「クセがあるスタジオ」	2024年9月号掲載
Genius Loci ー場の力ー	2024年3月号掲載
番町の家	2024年8月号掲載

建築人賞	設計者に賞状および記念盾を授与、建築主・施工者に賞状を授与
建築人賞新人賞	設計者に賞状および記念盾を授与、建築主・施工者に賞状を授与
建築人賞奨励賞	建築主・設計者・施工者に賞状を授与
建築人賞佳作	建築主・設計者・施工者に賞状を授与

動静レポート

会長動静

- 5/27 大阪府収用委員会、健康・省エネ住宅国民会議、大阪府建築士事務所協会総会
- 5/28 定時総会
- 5/29 日本建築士会連合会理事会
- 5/30 和歌山県建築士会総会、大阪府建築設計協会総会
- 5/31 滋賀県建築士会総会
- 6/3 地震災害に備える日本の防災対策セミナー、香港理工大学生交流会
- 6/4 ミャンマー技術支援会議
- 6/5 インドネシア領事館訪問、新北市建築師公會會議
- 6/6 近畿建築外壁仕上業協同組合総会
- 6/8 ミャンマー技術支援会議
- 6/10 大阪府収用委員会
- 6/11 国土交通省・豊嶋建築指導課長面談、日本建築センター・和泉顧問、橋本理事長面談、命を守るひと部屋会議（福岡県）
- 6/12 千葉県建築士会・圓崎元会長、セイワ工業（株）・福長氏面談
- 6/13 京都府建築士会総会
- 6/14 上海市勘察設計行業協會事業
- 6/16 モンゴル領事館訪問
- 6/17 日本建築士会連合会総会
- 6/18 理事会
- 6/20 大阪府安全なまちづくり推進会議総会、日本建築家協会総会
- 6/21～22 命を守るひと部屋シンポジウム（札幌市）
- 6/23 大韓建築士協会との大阪芸術大学見学、ウクライナの建築と文化を学ぶセミナー
- 6/25 近畿建築士会会長会議、近畿建築士会協議会（滋賀）

令和7年度定時総会と行事の開催

5月28日に定時総会をKKRホテル大阪で開催し、総正会員数2,115名に対して1/3以上となる869名（うち委任状769名）の出席で定款第17条に照らして成立しました。

◆岡本森廣会長の挨拶

本年は建築士会全国大会「おおさか大会」の開催年でもあることから、飛躍的に諸活動の多様化を図り前進して参ります。会員

の皆さまの更なるご支援をお願い申し上げます。

◆第1号議案（令和6年度事業報告）

令和6年度に実施した公益目的事業（公1・公2・公3）、収益事業、その他事業について、運営会議・社会貢献（業務・地域・建築情報）・建築表彰・研修の常設部門別に報告し、承認されました。

◆第2号議案（令和6年度財務報告）

貸借対照表に基づき、資産の部で流動資産と固定資産を合わせた資産合計は111,084,658円、負債の部での合計は41,950,235円、正味財産合計は69,134,423円を報告しました。正味財産増減計算書による経常収益合計は146,791,891円、経常費用合計は143,636,868円、当期経常増減額は3,155,023円となりました。

公益法人を満たす条件は3点あり、1点目は経常費用計で合計額に対して公益目的事業小計が50%以上になっていること、2点目は当期経常増減額で公1・公2・公3及び小計欄がマイナスであること、3点目は収1事業の収益と費用の差引利益額の一部を公益目的事業会計に振替えた後の当期一般正味財産増減額において、公益目的事業会計の小計がマイナスになっていることです。以上の条件3点がすべて満足されており、令和6年度の決算において本会は公益社団法人としての基準を満足したことを報告し、承認されました。

◆監査報告

令和6年度は黒字決算となりましたが令和7年度予算では確固たる収益事業がなく、事業利益は不透明な状況が続くことを認識し、さらなる事業推進が急務であるとししました。

◆第3号議案（公益認定法改正に伴う定款の変更）

定款の変更には定款第17条の規定に基づき総正会員数の2分の1以上の出席が必要ですが、委任状を含む総会の出席者数が定数に満たないため本議案は審議できないことを報告しました。

◆第4号議案（令和7年度役員選任）

理事・監事候補者選考委員会の推薦により理事会で承認された候補者のうち27名が選任され、令和7年度の構成は留任の理事21名を合わせて役員48名となりました。

◇表彰式

名誉会員称号、荣誉・永年会員、CPD制度表彰の会員表彰と、第68回大阪建築コンクール、第17回建築人賞の建築作品表彰を行いました。受賞作品の詳細は、大阪建築コンクールは本誌6月号、建築人賞は本誌7月号に掲載いたします。

◇記念講演会

藤本壮介氏（株）藤本壮介建築設計事務所代表取締役）をお迎えし、大阪・関西万博をはじめ、国内外で携わってこられた様々なプロジェクトをご紹介いただいたご講演は好評を博しました。

6月度 理事会報告

日時 6月18日（水）16:00～18:00
場所 本会東会議室
出席 理事43/46名 監事2/2名

【審議・承認事項】

(1) 入退会の承認

（人）	4・5月	入会	退会
正会員	2,111	25	12
準会員	28	1	0
特準会員	22	1	0
賛助会員	150	4	3
計	2,311	31	15

(2) 会計報告

（円）	4・5月計	累計
収入	66,912,213	66,912,213
支出	22,625,465	22,625,465
差引	44,286,748	44,286,748

上表の当期経常増減明細を承認しました。

(3) 地域貢献活動事業助成の再募集

助成申請のあった団体より申請取り下げの申し出があり、本年度の事業助成の再募集を行うことが承認されました。

【報告等】

(4) おおさか大会の進捗状況

6/15の申込締切時点での大会登録者は2,581名となり、6/19～7/31に再募集を行うとともに、エクスカッションは各コースの催行を検討することを報告しました。

(5) 定款第21条4項に基づく事業執行を報告しました。

(6) 本年1月から開設している建築士サポートセンターの対応実績を報告しました。

建築士会からのお知らせ

2025年版会員名簿の配布について

本年度も本会会員名簿の配布（無料）は、希望者による申込制とさせていただきます。建築人8月号に同封のうえ発送いたしますので、ご希望の方は7月15日（火）までに下記QRコードもしくは本会事務局へメールかFaxにてお名前と会員番号をご連絡ください。

e-mail: info@aba-osakafu.or.jp
FAX: 06-6943-7103



会員名簿申込QR

既存住宅状況調査技術者講習

新規講習7/9、10/22

更新講習9/25、11/7、2/25

CPD新規5単位、更新2単位

既存住宅状況調査は、登録機関の講習を修了した建築士のみに認められる業務です。ぜひ本講習で新たな業務の資格を取得してください。令和4年度に本講習を修了された方は本年度が有効期限となりますので、更新講習をご受講ください。

▼新規講習（DVD）

日時 7/9（水）、10/22（水） 9:30～17:00

会場 大阪府建築士会 東会議室

定員 30名（定員に達し次第締切）

受講料 WEB申込21,450円

郵送申込22,000円

▼更新講習（DVD）

日時 9/25（木）、11/7（金）、2/25（水）

13:30～17:00

会場 大阪府建築士会 東会議室

定員 30名（定員に達し次第締切）

受講料 WEB申込17,000円

郵送申込17,600円

▼申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。上記以外にオンライン講習も開催いたします。

<https://www.kenchikushikai.or.jp/koshukai/kizonjyutakujyokyocho.html>

令和7年度監理技術者講習

7/24、9/26 CPD6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。

日時 7/24（木）、9/26（金）

各8:55～17:00

会場 大阪府建築士会 東会議室

定員 各回30名（定員に達し次第締切）

受講料 WEB申込み9,500円

郵送申込み10,000円

申込 日本建築士会連合会HPより

<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html>

令和7年度地域文化遺産のガイド人材育成講座

7/26、8/2、12/13

専門家による全3日間の座学と実地講習を通して、地域文化遺産の保存・活用におけるまち歩きの意味、そして、大阪の歴史や地域的特性についての理解を深めながら、ガイドとして必要な知識・スキルを習得することを目指します。今年度は、大阪中之島・船場を中心にガイドを学びます。

第1回: 7/26（土） 講師: 大澤研一 高岡伸一
会場: 綿業会館

第2回: 8/2（土） 講師: 中嶋節子 船越幹央
会場: 大阪倶楽部

第3回: 12/13（土） 講師: 船越幹央 ほか（予定）
定員 各回20名（予定）

受講料 各回4,000円

申込は7月4日10時から本会ホームページより受付開始

広域災害調査技術者講習会

第2回『風水災害の査定・調査』

7/31 CPD5単位

本研修会は、近年ますます懸念が膨らむ大規模な災害に備えて建築士の職能を活かした取り組みの一環として、社会的復旧・復興

に資する建物被害等の損害鑑定業務等の調査練度を向上させるため、近畿二府四県の会員向けに開催します。

日時 7/31（木）

10:00～16:00（受付9:30～）

講師 内山鑑定株式会社 大阪本部

上川部長 1級鑑定人

定員 対面方式（定員30名）+WEB方式

会場 大阪府建築士会 東会議室

※WEB方式はTeams使用

参加費 1,000円 ※資料印刷代及び事務局経費

受講対象者 一級建築士 二級建築士

既存木造住宅の耐震診断・改修講習会（限界耐力計算法）

8/20 CPD4単位

既存木造建築物の限界耐力計算法による耐震診断は、一般診断法が建物の強度を評価するのに対して、建物の強度だけでなく、減衰性能も評価することができる診断法です。なお、講習会の修了者名簿は大阪府及び府内全市町村・関係団体等に常備し、耐震診断を希望する建物所有者等からの問合せに活用します。

日時 8/20（水） 10:00～15:00

会場 大阪府建築士会 東会議室

定員 30名（定員に達し次第締切）

受講料 会員6,000円、一般8,000円

テキスト代 4,000円

「大阪府 木造住宅の限界耐力計算による耐震診断・耐震改修に関する簡易計算マニュアル」（2023年10月改訂版）

令和7年度 建築士定期講習

8/27、9/17、10/17、11/20、12/12、1/21、2/13、3/26

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は令和4年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。

▼日程・会場・定員

※8/27（水）大阪府建築健保会館 80名



Informationの詳細及び申込みは大阪府建築士会ホームページに掲載しています。
http://www.aba-osakafu.or.jp/ メール info@aba-osakafu.or.jp
TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103

9/17(水) 大阪府建築健保会館 70名
※10/17(金) 大阪府建築健保会館 80名
11/20(木) 大阪府建築健保会館 70名
※12/12(金) 大阪府建築健保会館 80名
1/21(水) 大阪府建築健保会館 70名
※2/13(金) 大阪府建築健保会館 80名
3/26(木) 大阪府建築健保会館 70名
上記すべてDVD講習です。
※の日程：大阪府建築士会が運営
※以外の日程：大阪府建築士事務所協会が運営
注)各回定員に達し次第、受付を終了します。
時間 9:15～17:00(各講習日共)
受講料 12,980円(消費税含。事前入金)
申込 建築技術教育普及センターHPより

既存木造住宅の耐震診断・改修講習会 (一般診断法)

10/29、12/2 CPD各5単位

本講習会は、大阪府及び府内市町村の木造住宅耐震診断・改修の補助を受けることができる技術者の養成を目的としています(国土交通大臣登録講習ではありません)。講習会の修了者名簿は大阪府及び府内全市町村・関係団体等に常備し、耐震診断を希望する建物所有者等からの問合せに活用します。
日時 10/29(水)、12/2(火)
10:00～15:50
会場 大阪府建築士会 東会議室
定員 30名(定員に達し次第締切)
受講料 会員5,000円、一般9,000円
テキスト代 7,300円
「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」

IT活用連続セミナー

7/7、7/14 CPD2単位(予定)

建築設計事務所のDX(デジタルトランスフォーメーション)運営について、これからの建築業界に必要なIT知識向上のためのセミナーを行います。
日時 基礎編:7/7(月) 15:00～16:40
活用編:7/14(月) 15:00～16:40
会場 大阪府建築士会 東会議室+WEB併用
定員 各回 会場30名+WEB参加50名

(申込先着順)
受講料 会員:2回セット4,000円、1回のみ2,500円
一般:2回セット5,000円、1回のみ3,000円

放射空調 体感セミナー

一水を造り、熱を活かし、音を究め、よりよい環境をつくる—
7/8 CPD2単位(予定)

本セミナーでは、健康性や快適性に直接影響を与える温度・湿度・気流などの要素の制御方法に加え、放射空調による知的生産性の向上、そして安全・安心についても体感いただけます。
実際に放射空調を導入したセミナー室にて、システム概要から効果まで、エンジニアが講師となりトータルに解説して頂ける貴重な機会ですので奮ってご参加下さい。

日時 7/8(火) 15:30～
会場 ササクラテクノプラザ
定員 25名
受講料 会員2,000円、一般4,000円

あたりまえの拡張

～そこにしかない建築の可能性を探して～
7/19 CPD2単位(予定)

阪神高速湾岸線・泉大津大型車専用パーキングエリアを設計された建築家・魚谷剛紀さんをお招きし、講演会を開催します。高架橋の上という極めて特殊な敷地条件のもと、どのようにして空間の質と機能を両立させたのか——構造・環境・景観を横断する設計のプロセスを、パーキングエリアから近作まで共同設計された作品を中心に興味深いお話を聞かせていただきます。後半は、設計共同体として協力された谷岡拓さんにご参加いただき、設計段階の秘話や、舞台裏に迫るディスカッションを行います。共同設計に取り組む際の心得や、異なる視点を持つ設計者同士がタッグを組むことで生まれた発想や、新しい価値についても掘り下げていきます。さまざまな立場の設計者が「チーム」として取り組む中で見えてきた、これからの建築のあり方を考える貴重な機会です。

日時 7/19(土)
15:00～17:10(受付14:30～)

会場 ポートフォリオ2階
(南海本線貝塚駅西口すぐ)
参加費 1,000円(一般・会員)
募集定員 30名(申込先着順、学生無料)
建築士会会員でなくてもご参加頂けます。

建築士の会 東大阪 公開企画 研究所見学会! 大光電機株式会社 技術研究所 —最新の試験設備・シュミレーションスペース— 8/1 CPD2単位(予定)

大光電機株式会社は創業100年の照明器具専門メーカーです。技術研究所は、2017年に完成した開発拠点で、メーカーの心臓部である製品開発に関わる部門が集まっています。技術研究所の内部の見学をさせていただき、LED照明の研究開発における検査室や、最新の照明技術などをご説明いただきます。
日時 8/1(金) 15:00～17:00(2時間)
場所 大光電機株式会社 技術研究所
参加費 会員・一般1,500円
学生・新入会員500円
定員 30名(申込先着順)
申込締切 7/23(水)

デジタルツイン×メタバース×AIで切り開く地方創生手法の今 —石見銀山デジタルツインバースPJ— 8/25 CPD2単位(予定)

本講演会では、大成建設で“建築・まちづくりの先端領域に挑戦する”先端デザイン室の設計者に、これまでに類を見ないまちづくりの取り組みについて紹介していただける貴重な機会ですので奮ってご参加ください。
日時 8/25(月)
14:20～16:00(集合受付14:00)
受講料 建築士会会員2,500円
後援団体会員3,500円
一般4,500円
会場 大阪府建築健保会館
定員 90名

フランス・イタリア・ドイツ紀行

「歴史的建造物の保存と利活用の現状と潮流」

日程：令和7年5月1日(木)～5月11日(日)



岡本森廣(会長)

5月1日(木)～5月11日(日) 迄、11日間に3ヵ国を訪ねる貴重な機会を頂いた。特にイタリアが中心となったが、その中でもローマ・バチカンのコンクラーベの盛り上がりの最中と重なり減多に味わえないイタリアのローカルな地の郷愁を見聞き出来、旅行書籍にないものを味わえたといえよう。

建築士会でもヘリテージ委員会等で歴史的建造物の価値創造について極めて先進的に取り組んでいるが、ヨーロッパではどのような取り組みや制度設計がなされ、いかなる成果が見えているか、更には抱えている課題・問題は何かも知りたかった。先ずフランス・パリではユニセフやOECDのメンバーに様々な現状や課題、多様な考えをお聞きでき有為であった。

朝早くに起きてセヌ川湖畔を1時間ほどウォークした際にパリ万博の象徴的なエッフェル塔のゲートには様々な国々の老若男

女の方が長蛇の列をなしていた。この塔は万博後には取り壊す予定であったが、今は貴重な歴史的遺産であり外貨を稼ぐシンボルである。大阪万博では何がシンボルとなりレガシーとして残るか?ふと考える事であった。今回の行程はパリ～ミラノ～ペローナ～ナポリ～ボンペイ～アマルフィ～ローマ～フランクフルトであり、コモのラリオ湖畔に位置するムッソリーニの暗殺されたホテルやバルピアネッロ邸は隅々まで手入れが行き届き見学者が引き合い押し合いであった。寄付を受け自治体主導のボランティアが運営に当たっている。紙面の都合で詳細は次の機会に委ねたい。特にアマルフィでは予定にないモーターボートをチャーターして海から眺望し、如何にその地形の特異性を活用して防災を考慮に入れて歴史資産を複合的に価値創造に展開したかが明確である。考えさせられる研修旅行であった。



建築相談室から(97) 建築士の相談2

橋本頼幸(建築相談委員会幹事)

2024年度の相談では、建築士に関する相談が顕著に増加しました。建築士に対する相談、および建築士からの相談がいずれも多く寄せられています。前回に引き続き、これらの相談事例をご紹介します。

1. 無資格問題

同様の相談が、1年間で2件ありました。

「築35年のマンションで、2回目の大規模修繕を予定している。管理会社から紹介された設計事務所が、一級建築士の資格がないにもかかわらず、あると偽っていた。設計事務所の登録も期限切れになっている。設計監理契約を変更したいと、理事会や説明会で意見を述べても受け入れてもらえない。」「築35年のマンションで、大規模修繕工事中である。監理業務を行っている者が無資格であることが判明した。設計事務所も登録されていない。このような者を建築士会で管理してほしい。」「前者のケースでは、理事会や総会

で意見が受け入れられないという状況にやや違和感がありますが、管理会社が元請けとして、その業者が外注先である可能性も考えられます。相談記録からは詳細が不明でした。後者のケースは、当会(建築士会)への要望が主旨でしたが、当会に直接的な対応権限はありません。一方で、これまで容易ではなかった、建築士や建築士事務所の登録簿閲覧システムがインターネットで公開されました。このシステムで事前に確認できれば、同様のトラブルは減少するでしょう。

2. 2級建築士の業務範囲

「RC造6階建ての1階部分のリフォームを予定している。躯体には手を加えず、間仕切りの変更と天井高の変更を行う。面積は300㎡を超えるが、2級建築士でも設計可能か。」「2級建築士だが、設計事務所には所属していない。知人から防災設備の点検を依頼された。報酬は発生しないが、引き受けてもよいか。」

3. 建築基準法改正に関する相談

「改正建築基準法の内容、特に木造住宅の構造計算(新2号建築物)について詳しく教えてほしい。」「4号特例の見直しに関するダイジェスト版や解説資料はあるか。」「これらの相談者は当会の会員とは限りませんが、相談者にとっては切実な状況であると思われ、この機会に是非当会にご入会いただければと願うところ。

4. その他相談事例

「建物の調査を行う場合、労災保険に加入できるのか。」「建築士事務所登録をしていない施工者の下請けとして設計を行う場合、重要事項説明は必要か。」

このように、建築士として業務を行ううえで、判断に迷う状況や疑問が生じることは多々あります。そのような時に、当会の建築相談室が気軽に相談できる窓口として、頼られていることがうかがえますし、相談先としても必要とされていると感じます。

安心・安全・快適なモノづくりをめざす

上 田 茂 久

株式会社 上田茂久・建築設計工房
大阪市北区中津1-12-3

DX・GX・SXを通じて社会貢献を！

岡 本 森 廣

株式会社 長田建築事務所
大阪市中央区谷町9-5-28-806

澤 本 侃一郎

株式会社 K&S総合企画
大阪市西区京町堀2-2-1
(スマタビル10F)

暑中 お見舞 申し上げます

田 中 義 久

株式会社 田中都市建築事務所
(TANATOSHI DESIGN NET)
大阪市住吉区帝塚山西1-11
A-101

建築士会 全国大会を成功させよう

徳 岡 浩 二

株式会社 徳岡設計
TOKUOKA SEKKEI MYANMAR Co., LTD.(YANGON)
大阪市中央区本町橋5番14号
(オージービル本町橋3階)
大阪・東京・滋賀・九州

暑中お見舞申し上げます

横 田 友 行

株式会社 能勢建築構造研究所
大阪市中央区瓦町3-3-7
(瓦町KTビル)

建築設計事務所 他

大 松 敦

株式会社 日 建 設 計
大阪市中央区瓦町3-6-5

人、社会、地球環境との共生

金 峰 鐘 大

株式会社 I A O 竹田設計
大阪市西区西本町1-4-1

「おもい」をデザインする

湯 浅 武 夫

株式会社 阿波設計事務所
大阪市浪速区元町2-2-12

米 井 寛

株式会社 東畑建築事務所
大阪市中央区高麗橋2-6-10



For a Lively World

常務執行役員関西支店長 足立 憲治

関西支店：大阪市中央区南船場1-14-10 電話06(6265)4504
本社：東京都新宿区西新宿1-25-1 電話03(3348)1111



想いをかたちに 未来へつなぐ

取締役社長 佐々木 正人

〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-13
〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1

建材・設備会社 他



CAZARY® ORNAMENTAL HARDWARE
建築用装飾金属設計製作施工

株式会社 **アルテック**

代表取締役社長 加藤 節夫

大阪営業所 〒556-0006 大阪府大阪市浪速区日本橋東1-4-1
TEL 06(6644)6421(代)

<大阪市内最大規模>人気のモデルハウスが30棟!



住所 大阪市鶴見区焼野1丁目南2番
電話番号 06-6915-3571

主催/一般財団法人 大阪住宅センター
後援/大阪府・大阪市・住宅金融支援機構近畿支店



一般社団法人

大阪電業協会

会長 上坂 隆 勇

〒530-0055
大阪市北区野崎町9番8号 永楽ニッセイビル
TEL(06)6363-4077 FAX(06)6363-4079
ホームページ <https://www.osdenkyo.or.jp/>



荷物用エレベーターはクマリフト。

荷物用 人荷物エレベーター (マルチベアー)
小荷物専用昇降機 (コンパクトベアー)
販売 / メンテナンス / リニューアル

業務用エレベーターメーカー

クマリフト株式会社

本社：大阪市西区京町堀 1-12-20
TEL：0120-07-0570
ホームページ：www.kumalift.co.jp

建築・インテリア・土木・造園
建設のすべては、修成で学ぶ

学校法人 修成学園
修成建設専門学校

理事長 山下 裕 貴

〒555-0032 大阪市西淀川区大和田5丁目19番30号
TEL.06-6474-1644

ずっと こちいいね

DAIKEN

大建工業株式会社 2025年9月26日から「DAIKEN株式会社」に改称します。

大阪市北区中之島3-2-4
中之島フェスティバルタワー・ウエスト
06-6205-7214

透明クリア名刺 **CHUSSA**
中和印刷紙器株式会社
詳しくはコチラ

人とは違う
名刺を作りたい、
印象に残る
名刺を
作成します。




〒640-8225 和歌山市久保丁4丁目53 TEL.(073)431-4411 FAX.(073)431-8188

JBMA 一般社団法人 **日本建築材料協会**
JAPAN BUILDING MATERIALS ASSOCIATION

会長 松本 将

本部 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-4-23 撞木橋ビル4F
TEL 06-6443-0345 FAX 06-6443-0348
支部 関東・中部・中国・四国・九州
<https://www.kenzai.or.jp>

安心と信頼を共に創るパートナー
一般財団法人
GBRC **日本建築総合試験所**

理事長 川瀬 博

〒565-0873 吹田市藤白台 5-8-1
TEL 06-6872-0391 FAX 06-6872-0784
<https://www.gbrc.or.jp>

学校法人 福田学園 

OCT 大阪工業技術専門学校
OHSU 大阪保健医療大学
OCR 大阪リハビリテーション専門学校

理事長 福田 益和

〒530-0043 大阪市北区天満1-9-27
TEL 06-6352-0093 FAX 06-6352-5995
URL <https://www.fukuda.ac.jp>

アルミニウム建築材料 アルミニウム総合商社

 **安田株式会社**

代表取締役社長 安田 誠

〒542-0081 大阪市中央区南船場1-11-9 長堀安田ビル7F
電話 06 (6251) 7091 FAX 06 (6262) 3629

本社 大阪
札幌 北関東 東京 名古屋 大阪 福岡

抽象化による環境造形の静謐さ

土門拳記念館（現・土門拳写真美術館） 一九八三年

文・写真＝松隈 洋〔神奈川大学建築学部教授〕

もっと早く現地を訪ねておくべきだった、もっと詳しく設計者本人から話を聴いておけば良かった。今ごろになって、そう悔やまずにはいられない。二〇二五年三月二三日、遅ればせながら、谷口吉生の初期の代表作である土門拳記念館（一九八三年）と隣地に建つ酒田市国体記念体育館（一九九一年）のある山形県酒田市をはじめ訪れることができた。二〇一三年、縁あって、「生誕一〇〇年丹下健三展」の実行委員会でも席し

てから、翌二〇一四年に金沢市民芸術村で開催された「谷口吉郎・谷口吉生の建築―金沢が育んだ二人の建築家―」展や、二〇一九年の新館の建設計画により、取り壊しの危機に遭遇した東京都葛西臨海水族園（一九八九年）のシンポジウムなどを通して、わずかな時間だったが、身近に接する機会を得ていた。だが、父・吉郎に対する敬意から企画された金沢の親子展では、谷口吉生の建築は多くは紹介されず、図録の解説文を依頼された筆者は、吉郎の



北側の人工池の対岸から見た建物全景



2階ブリッジから「水の庭」を見下ろす

建築を中心に急ぎ訪ね歩いたに過ぎない。しかも、谷口は、二〇一七年、八〇歳の節目にようやく決心し、新聞に連載した自叙伝の中で、「私は建築職人を標榜し、実現した建築を通してのみ自分を表現することを心がけ、自身や建築について語ることを極力避けてきた」と記すように、けっして多くを語る人ではなかった。そんなことから、遠方でもあり、酒田を訪ねることを先延ばしにしていたのだ。こうして、時は過ぎ、二〇二四年十二月十六日の谷口の訃報に接し、愕然とする。求められて、追悼文「谷口吉生さんを悼む―透明感湛えた空間の光明」（『日本経済新聞』二〇二五年一月九日）を書き留めたが、今回、酒田のふたつの建築を前に、谷口建築の理解の未熟さを痛感する。気づくのが遅かった。これからは、残された建築と資料から読み取るしかない。

さて、リアリズム写真を確立した写真家・土門拳（一九〇九〜一九九〇年）の記念館として計画されたこの建物の設計は、どのようにして始められたのか。同じ自叙伝の中で、谷口は、次のように回想している。

「写真家の三木淳氏が訪ねてこられたのは一九八〇年代の初めのことだったと思う。師匠の土門拳氏が郷里の山形県酒田市に全作品を寄贈し、同地に日本で初めての写真専門の美術館を作るようになった。土門氏は病で倒れ、昏睡状態にある。設計を誰に頼むか思案する中で、『谷口という建築家がいい』と師匠が口にしていたことを思い出されたという。」（谷口吉生『私の履歴書』淡交社二〇一九年）

この突然の設計依頼に、谷口は戸惑ったという。土門の口にしたのは、一九九七年に死去していた父・吉郎のことではないか、と思えたからだ。けれども、後日、弟子の三木から、「ぜひ設計をお願いしたい」と再び連絡が入ったため、市長や遺族らと会い、設計を手がけることになる。

敷地は、J R羽越本線の酒田駅から約四キロ、武家屋敷や庄内米を保存集積する十二棟の豪壮な木造の山居倉庫が残る旧・市街地を抜けて、日本海にそそぐ最上川を渡った河岸で、そこに計画された飯森山文化公園の一角にある。周囲には水田地帯が広がり、遠く山形県の最高峰・鳥海山を望む。そんな雄大な風景の中に点在する砂丘のひとつで、緑豊かな飯森山の裾野が選ばれた。また、記念館の建設に合わせて、敷地の北西側に野鳥の飛来する人工池を設けることになった。

それでは、こうして与えられた敷地を、谷口は、どのように捉え、どのような方法を試みようとしたのだろうか。

「敷地を私は何度か訪れるうちに、周辺の美しい四季の構図が、次第に蓄積されていくようでした」と、竣工後、「土門拳氏へ」と題する長文（『新建築』一九八三年十二月号）に書き留めたように、谷口は、その場所に繰り返し身を置くことを通して、敷地の持つ特性を身体的な直観によって具体的に把握しようとする。この姿勢こそ、その後の谷口建築に変わらずに読み取ることでできる建築思想の根幹にあるものだ。そして、この記念館では、「建築と周辺の環境の積極的な関わり」を、「第一のよりどころ」に設計を進めたという。そのように

して導き出された建築とは、「内部に作者そのものを表現する展示物」と「外界の美しい自然」との「間」に存在する「抽象化されたもの」であり、そのために、「様式に捉われず、極力意匠を消すこと」を目指そうとしたのである。

こうして、外観は、内部空間を表出せず、幾何学的な「抽象的な造形」により構成され、背後の飯森山の自然と柔らかない曲線の人工池を対比的に引き立てるものとなる。秀逸なのは、この外観の構成が、内部空間の各要素が持つ性格と、そこへと至る人の動きに沿って展開される風景の連続性を根拠に生み出されていることだ。そのため、開口部のない展示室や収蔵庫、機械室などの諸室は、一部を飯森山の裾野の土中に埋め込んで、自然に溶け込ませる。一方、土門記念室は、視界が大きく開いた空間として、人工池に浮いているように配置する。また、西側からのアプローチ路を隠しつつ、記念室の存在を際立たせる背景とするために、人工池沿いに、東西南方向に伸びる高さ約七m、長さ約七十二mの花崗岩の壁面を設ける。さらに、その一部を欠き取って、イサム・ノグチの彫刻を置いた水音の響く「水の庭」へ、池の水面を引き込んだのである。

訪れた鑑賞者は、こうして考え出された流れるように続く経路に沿って、土門の写真に触れ、記念室へと至る心地良い空間の連続性に身をゆだね、ゆったりとした時を過ごしている。この現地で目撃した印象的な光景を谷口と語り合ってみたかった。静謐さ漂う空間の中で、あらためて、谷口吉生の求めたものの、遺したものの大きさを感じた瞬間だった。

落ちなくて良かった、となる前に、 安全な場所、に変えておく。

大地震による天井落下から、人々を守りたい。

FMS天井は、地震後にも天井機能の維持可能な優れた耐震性能を有する、軽くて画期的なシステム天井です。

機能維持耐震天井工法

FMS天井

超軽量2.0kg/m²以下

耐震水平基準2.2G

軽量でも剛性のある特殊なクロス嵌合構造(特許取得)で、地震時の水平加速度2.2G・鉛直加速度1Gの負荷をかけても全く損傷せず、建築技術性能証明を取得(GBRC性能証明:第23-13号)しています。面材に剛性を求めないため、断熱性、吸音性、防水性など用途に応じた思い通りの天井材を選択可能です。体育館やプール・病院・商業施設・公共施設など幅広い用途に。また構造への影響が少ないため、耐震改修にも向いています。



優秀賞
公益社団法人大阪府建築士会賞



安田株式会社

<https://ashibane.co.jp>

info_fms@ashibane.co.jp

お問合せ先: マーケティング開発部 ▶ 東京(03)5858-0271 ▶ 大阪(06)6251-7152





西側外観。既存建物から北側と南側に木と鉄骨を使って増築した大庇が跳ね出す。



共創スペース。既存梁の残る吹抜けを介し、1階と2階が適度につながる。